

第30回 化粧品文化研究者ネットワーク研究会（6/21）のご案内
顔学会会員の皆さま

新緑がまぶしく感じられる季節となりました。会員のみなさまにおかれましては
はお変わりないでしょうか。

さて、下記の通り「化粧品文化研究者ネットワーク 第30回研究会」を開催いたします
のでご案内申し上げます。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

代表 北山 晴一

記

◆日時：6月21日（土）14:00～16:30

◆会場：資生堂 五反田オフィス 4階会議室

東京都品川区西五反田3-9-1

JR・都営浅草線・東急池上線 五反田駅から徒歩約10分

東急目黒線 不動前駅から徒歩約4分

◆スケジュール：

14:00～15:00 講演：謝黎さん（東北芸術工科大学）

テーマ：「チャイナドレスと化粧品---美しいのは顔か、化粧品か」

15:15～16:15 討議

16:15～16:30 諸連絡

◆研究会参加費：500円

◇研究会終了後、17:00～懇親会（別途会費制）を予定しております。

こちらもぜひご出席ください。

◆お申し込み：

研究会・懇親会へのご出席申し込みは、以下1から3を記入の上、

事務窓口 青木まで（メールアドレス：nobuko.aoki@to.shiseido.co.jp）ご連絡を
お願いします。

1.研究会 ご出席 or ご欠席

2.懇親会 ご出席 or ご欠席

3.ご所属（学校名、会社名など）・お名前

お申し込み先：化粧品文化研究者ネットワーク 事務窓口 青木

nobuko.aoki@to.shiseido.co.jp

お申し込み締め切り：6月16日（月）

講演者プロフィール：

謝黎(しゃ れい)

東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科・専任講師

服飾人類学、博士（学術）

上海出身。学生時代からアジアの布に魅かれ、チャイナ服の研究と収集をはじめた。不定期的に博物館や美術館、ギャラリーでコレクションの展示企画を開催し、その魅力を多くの方々に紹介している。また「民族服」や「伝統服」を取り上げ、それらにまつわる諸問題、たとえば、文化的帰属意識、信仰、エスニシティ、観光化、ジェンダーなどに焦点を当て、アジア地域の「近代化」における「民族」の生成、融合、消滅、伝統のあり方などの研究を物質文化の観点から進めている。こうした研究を通して、「近代化」による地域集団間の文化的差異の収斂や拡大などの変遷過程について検討していく。